

(別添資料1)

事業所名

コスモス放課後等デイサービス でん・でん

支援プログラム

作成日

2025 年

4 月

1 日

法人（事業所）理念		経営理念 ・国民の権利としての、社会福祉の進歩を築きます。 ・社会福祉の公的責任と市民の共同性を追及します。 私たちは、 1. だれもが、必要な時に、利用できる福祉制度の確立をめざします。 2. 利用者の生活と発達を保障し福祉の向上と内容の充実につとめます。 3. 利用者の健康で文化的な生活と権利をまもり、福祉のネットワークづくりにつとめます。 4. 地域の人々と共同し施設の民主的な運営につとめます。 5. 国民の基本的人権の尊重と人類の恒久平和につとめます。 私たちは、この基本理念を実現するため、「協力・共同」の考えを大切に、あらゆる要求と運動の統一的発展。そして、社会福祉、社会保障の立場から、憲法で定められた「恒久平和」「基本的人権」の確立、国民の「健康で文化的な生活」の実現を目指します。													
支援方針		・自己肯定感や自信につながる関わりを大切にする。 ・家族同士の繋がりを大切にし、共に学び合う。 ・目に見える成果のみに捉われない、毎日の暮らしを積み上げる支援を行なう。 ・こどもからおとなを見通した支援を行なう。 ・地域の人たちとの繋がりを大切にし、地域全体で安心して暮らせるまちづくりを目指す。													
営業時間		10 時		0 分から		17 時		0 分まで		送迎実施の有無		あり		なし	
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	○健康状態の把握…検温や気分の把握を行い、健康な心と体を育てると共に、自身でも健康で安全な生活を送れるよう支援する。こどもの特性や発達の過程に配慮し小さな変化にも気づけるようきめ細やかな観察を行う。 ○感染症対策や熱中症予防の対策を講じる。 ○生活リズムや生活習慣を形成する…睡眠・食事・排泄等の基本的な生活のリズムを身につけられるよう支援する。病気の予防や安全への配慮を行う。 ○基本的生活スキルを獲得する…食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な動作を獲得できるよう支援する。													
	運動・感覚	○姿勢と運動、動作の向上…日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持を獲得する。走る、投げるなどの運動と指先を使った細かな運動を取り入れる。 ○感覚の特性への配慮…感覚や認知の特性をふまえ、感覚の偏りに対する環境整備を行う。													
	認知・行動	○認知の発達と行動の習得…視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集し認知機能の発達を促す支援を行なう。 ○空間・時間・数等の概念を形成する…数量、大小、色等の習得、形や重さ色の違い等がわかるよう支援する。 ○適切な認知と適切な行動の習得…認知の特性をふまえ入ってくる情報を適切に処理できるよう支援する。認知の偏りなど個々の特性に配慮する。こだわりや偏食等に対する支援を行なう。													
	言語コミュニケーション	○言語の形成と活用…具体的な事や体験と言葉の意味を結びつけることで言語の習得、自発的な発声を促す支援を行なう。話し言葉や文字、記号を用いて相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えるなど言語を理解し表出できる支援を行なう。 ○コミュニケーションの基礎的能力の向上…多様なコミュニケーション手段を活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるよう支援する。													
	人間関係社会性	○他者との関わりの形成、自己の理解と行動の調整…人との関係を意識し、身近な人との信頼関係を基盤として周囲の人と安定した関係を築くための支援を行なう。遊びを通して社会性や対人関係が築けるよう支援する。 ○なかまづくりと集団への参加…感覚や運動機能を働かせる遊びから、見立てやごっこ等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。大人を介して自身の特徴を理解し気持ちや情動の調整ができるよう支援する。簡単な手順やルールを理解し遊びや集団での活動に参加できるよう支援する。													
家族支援		共に育ち合うこどもたちの成長に目を向けられるような取り組みを行う。（おたよりや家族の交流の場など）また、子育ての悩みを1人で抱え込まず、誰もがいつでも発信し合えるよう家族間の横の繋がりをつくっていく。ライフステージに応じて相談援助を行う。						移行支援		こどもを取り巻く環境、目の前のことだけではない視点を持ち、様々な関係機関と連携し情報の共有を図る。また、コスモスのこども、障害、高齢それぞれの分野の特性を活かしライフステージを見通した実践を行う。					
地域支援・地域連携		地域の文化に触れ経験が広がるきっかけとなる資源を活用する。また物理的環境だけでなく、地域の行事や取り組みに積極的に参加し地域の人たちとの繋がりをもつ。						職員の質の向上		職員が長く働き続けられる職場づくりを行う。 ・日常の声のかけ合いを大切に「報告・連絡・相談」を軸にすすめていく。 ・実践を通じての気づきや悩みなど、気軽に話し合える関係づくりをすすめ、1人で抱え込まずに実践を行なえる環境を整える。 ・研修等に参加し、学んだことをお互いに共有し実践に活かしていく。障害理解や子ども理解を深め、専門性の向上を目指す。 ・定期的に施設点検を行い、安全面と衛生面に加え、働きやすい環境を整備する。					
主な行事等		Ⅰ 期（4.5月）			Ⅱ 期（6.7.8月）			Ⅲ期（9.1011.12月）				Ⅳ期（1.2.3月）			
		・新年度を迎えた新しい環境の中で安心して過ごす。			・安心できる支援者、友だちと関わりながら夏の遊びを楽しむ。			行事を経験し、みんなでとりくむ楽しさを味わう。				・集団で過ごす中で自分の思いを伝えたり、相手の思いに気づくようになる。 ・進級に期待を膨らませる。			
		進級おめでとう会 こどもの日			七夕 プールあそび			運動会 秋まつり クリスマス				お正月 節分 ひなまつり 進級、おわかれ会			